



# 11月 園だより

令和2年11月2日(月)

尚徳福祉会 井荻保育園

菅野 智恵子

「ただいま」と散歩から帰って来た子ども達の手には、どんぐりなど木の実や葉っぱのお土産が。「たくさんひろったよ」「ママにあげるの」と見せてくれます。戸外で拾った大切な宝物はお家へのお土産にしたり、おもちゃや制作物にとあそびにつなげていました。園庭あそびや散歩に出かけた各クラスの子も達は、秋の自然に触れたり、体をたくさん使ったあそびや探索活動を十分に楽しんでいました。

11月。朝夕冷え込む季節になりました。空気も乾燥し、風邪をひきやすくなります。新型コロナウイルスに加え、インフルエンザの流行も気になります。手洗い・うがいはもちろんのこと、温度や湿度、衣服の調整にも十分配慮しながら、子ども達の体調を整え、元気に過ごしていきたいと思います。

## ☆いおぎンピックがんばりました☆

「いおぎンピック」の当日は雨。そして翌日も雨のためホールでの開催となりました。そんな中でも幼児クラスの子も達は、一人ひとりが競技を楽しみ、真剣に取り組み、また友だちを応援したり、助け合ったりする姿が見られました。子ども達の体の成長はもちろんのこと、心の成長が見てとれるような場面がたくさんあり、私たち職員はその姿に感動しました。そして、子ども同士が見せ合った「いおぎンピック」は来年の運動会に向け、すでに気持ちが向かっていることを実感しました。

保護者の皆様にはこの度の内容変更や、開催にあたってのご理解・ご協力をいただきまして、本当にありがとうございました。

たいよう組の保護者の皆様には、「いおぎンピック体験週間」へのご参加ありがとうございました。

## ☆ 保育参観・個人面談について ☆

10月は乳児クラスで保育参観・個人面談をさせていただきました。ご家庭での様子、園での姿などを共有させていただく貴重な時間となりました。「家での姿と同じです」「園ではがんばっているんですね」などのお話が…。幼児クラスも先月末から始まりました。これからの保育園生活が、子どもたち一人ひとりにとって、より良いものになるよう、ご家庭と協力し合いながら「共育て」できたらと思っています。今後とも何かありましたら、いつでもお声かけください。よろしくお願いいたします。



### 今月の予定

4日(水)	5歳児遠足
6日(金)	3歳児おにぎり散歩
17日(火)	乳児クラス身体測定 大原さんの会(5歳児)
18日(水)	幼児クラス身体測定
19日(木)	おばさんず(4, 5歳児)
20日(金)	避難訓練

### お知らせ

<後期保護者会について> 5歳児クラスは12月11日に。他クラスは1月から2月にかけて後期保護者会を予定しております。今後のコロナの感染状況が分かりませんので、開催を予定しつつ、感染状況により中止になる場合もあり得ることをお伝えいたします。なお、開催が可能な場合は、感染症対策のため時間短縮、二部制での開催等の対策を検討しております。ご理解のほどよろしく、お願いいたします。

## <すこやか保育> その1

家庭と保育園は「子育てパートナー」。そして家庭と保育園はどちらも大事な育ちの場。  
子どもが成長する姿を共に見つめていくため、大切な乳幼児期の育ちを共有していきましょう。

### ◎子どもは自ら育つ力を持っている。

食べたり、飲んだり、遊んだり、子どもにはたくましく生きていくための能力が備わっています。大人の役割は、その力を十分に発揮できるよう上手に手助けしてあげることです。

### ◎家庭と保育園はどちらも大事な育ちの場。

一緒に食事をし、お風呂に入り、お布団の中で子守歌をうたったり、触れあったり…。家庭で毎日繰り返される小さなやりとりのひとつひとつが子どもの心と体の成長を促します。

子どもにとって毎日お世話してくれる大人は安心感を与えてくれる大切な存在です。それは保育園も同じです。家庭と違うところは仲間が大勢いること。友だちとのあそびやケンカなど、様々な経験を重ねて成長していきます。

### ◎ スキンシップと会話

「大好きよ」「かわいいわ」という思いを、手をつなぐ、ほおずりをする、抱きしめる、等の言葉や行為ではっきりと伝えましょう。抱きしめたり、優しくされたりした時の心地よさから、子どもは安心感や人への信頼、優しい気持ちを覚え、人との関わり方を身につけていきます。

身近な大人が語りかけたり、子どもの思いに丁寧に気持ちを添わせて応えていけば、子どもは自然に言葉を使い始め、表現力も豊かに育って行きます。

いつどんな風におしゃべりをするかはその子の個性。いつもおしゃべりな子もいれば、心の中でじっと考えていてある日急に話しはじめる子もいます。



### ◎ 親子の触れ合いは「量ではなく質」

短い時間でもしっかり向き合っていれば、子どもの心は満たされます。

お風呂や着がえ、保育園の送り迎えの途中、寝る前の絵本タイムなど一緒にいる時間はたっぷりとふれあ



い、親子の時間を楽しみましょう。

疲れてイライラして接してしまった時には、素直に「ごめんね」と気持ちを伝え、子どもに不安感を残さないことも大切です。